

- びヒトp57KIP2のインプリンティング. 第22回日本分子生物学会年会 1999, 12, 7-10.
2. 辛正翰, 八木 ひとみ, 副島 英伸, 東元健, 向井 常博: 小児腫瘍を伴う Beckwith-Wiedemann 症候群 遺伝子座の新しい遺伝子. 第22回日本分子生物学会年会 1999, 12, 7-10.
 3. 副島英伸, 川本祥子, 大久保公策, 木村彰方, 西村聖代, 八木ひとみ, 向井常博: Body Mappingを利用した特発性心筋症の候補遺伝子アプローチ. 第22回日本分子生物学会年会 1999, 12, 7-10. (ポスター発表)
 4. 東元健, 副島英伸, 朱喜科, 辛正翰, 陣野吉廣, 香月武, 向井常博: ヒト11p15.5インプリンティングドメインに存在するORCTL2Sのインプリンティング状態と種間での遺伝子の保存. 第22回日本分子生物学会年会 1999, 12, 7-10.
 5. 松橋幸子, 副島英伸, 吉永英俊, 向井常博, 尾崎岩太, 成澤寛: Programmed Cell Death 4 (PDCD4: H731) 遺伝子の発現とがん化. 第22回日本分子生物学会年会 1999, 12, 7-10.
 6. 向井常博: 「エピジェネティクスと発がん」 Beckwith-Wiedemann 症候群とそれに付随する小児腫瘍. 第58回日本癌学会総会(シンポジウム), 1999, 9, 30.
 7. 向井常博: ゲノムインプリンティングと疾病機序の解明. 第3回日本内分泌病理研究会 (特別講演). 1999, 11, 10.
 8. 八木ひとみ, 服部正平, 西村聖代, 榊佳之, 向井常博: Beckwith-Wiedemann 症候群遺伝子座に対応するマウスゲノム領域の解析. 第22回日本分子生物学会年会 1999, 12, 7-10.
 9. 佐々木裕之: DNAメチル化とドメインレベルのインプリンティング制御. 大阪大学蛋白質研究所セミナー: DNAメチル化とゲノムインプリンティング, 大阪, 1月.
 10. 佐々木裕之: ゲノムインプリンティングの機構と個体発生. 開放的融合研究公開シンポジウム: 個体発生のゲノム機能と分子機構の解明, 東京, 3月.
 11. 佐渡敬, S. -S. Tan, P. P. L. Tam, E. Li: *Dnmt1*欠損マウスにおけるX染色体不活性化. 日本遺伝学会第71回大会, 広島, 10月.
 12. 佐々木裕之: DNAメチル化と染色体ドメインレベルのインプリンティング制御. 日本癌学会第58回総会 (シンポジウム: エピジェネティクスと発がん), 広島, 9-10月.
 13. 佐々木裕之: クロマチンを介したゲノムインプリンティング制御. 第72回日本生化学会大会 (シンポジウム: クロマチン機能の制御), 横浜, 10月.
 14. 渡辺卓也, 吉村朗, 三嶋行雄, 遠藤禎郎, 佐々木裕之, 木南凌: ゲノムインプリントを受けた染色体領域のクロマチン凝縮状態. 第72回日本生化学会大会, 横浜, 10月.
 15. 佐々木裕之, 石原宏, 古海弘康, 加藤玲子: 大規模塩基配列比較に基づく *IGF2/H19* 刷り込み制御配列の同定と解析. 日本人類遺伝学会第44回大会, 仙台, 11月.
 16. 佐々木裕之: インプリンティングドメインの構造とクロマチンを介した転写制御. 第22回日本分子生物学会年会 (シンポジウム: クロマチン構造と転写制御), 福岡, 12月.
 17. 千々岩崇仁, 阿部訓也, 酒井康弘, 河野友宏, 田嶋正二, 佐々木裕之: 哺乳類の新しいDNAメチルトランスフェラーゼ *Dnmt3* の生殖系列における発現. 第22回日本分子生物学会年会, 福岡, 12月.
 18. 石原宏, 佐々木裕之: *Igf2/H19* 遺伝子ドメインのインプリンティング制御領域に結合するタンパク質の同定と解析. 第22回日本分子生物学会年会, 福岡, 12月.
 19. 横峯孝昭, 都築政起, 松田洋一, 佐々木裕之: 鳥類におけるゲノムインプリンティングの検討. 第22回日本分子生物学会年会, 福岡, 12月.
 20. 大野みずき, 青木奈緒, 佐々木裕之: *Igf2* インプリンティングの初期胚における確立過程: アレル特異的RNA-FISHによる転写解析. 第22回日本分子生物学会年会, 福岡, 12月.
 21. 水野晋一, 千々岩崇仁, 佐々木裕之: 新規DNAメチルトランスフェラーゼ *Dnmt3a*, *Dnmt3b* の急性及び慢性骨髄性白血病における発現レベルの検討. 第22回日本分子生物学会年会, 福岡, 12月.
 22. 佐々木裕之: 哺乳動物におけるゲノミックインプリンティング機構. 第2回国際シンポジウム「食資源動物の生物工学」, 京都, 1月.
 23. Takashi Kohda, Akio Asai, Yoshimi Kuroiwa, Shin Kobayashi, Tomoko Kaneko-Ishino and Fumitoshi Ishino. Tumor suppressor activity of human imprinted gene *Peg3* in gliomas. *Cancer Genetics & Tumor Suppressor Genes* (New York: Cold Spring Harbor Laboratory) 1998年8月20日.

24. Shin Kobayashi, Hiraku Uemura, Masao Yamada, Norio Niikawa, Takashi Kohda, Tomoko Kaneko-Ishino and Fumitoshi Ishino. Screening of PEG1/MEST mutation in Silver-Russell syndrome patients. International Genomic Imprinting Meeting (Dublin) 1999年8月24-26日。
25. 幸田尚、浅井昭夫、黒岩義巳、小林慎、桐野高明、合阪幸三、石野（金児）知子、石野史敏 PEG3 遺伝子の glioma におけるがん抑制遺伝子としての働き 第21回日本分子生物学会（横浜：パシフィコ横浜）平成10年12月18日。
26. 奥津倫久、甲斐正之、横森欣司、金子安比古、横山峯介、鈴木理可、石野（金児）知子、幸田尚、石野史敏 IGF2 のアンチセンストランスクリプト PEG8/IGF2AS の父性発現と Wilms腫瘍における過剰発現 第22回日本分子生物学会年会 平成11年12月7-10日（福岡）。
27. 小林慎、上村拓、新川詔夫、山田正夫、山崎亮、幸田尚、石野（金児）知子、石野史敏 Silver-Russell 症候群における PEG1/MEST 遺伝子の変異解析 第22回日本分子生物学会年会平成11年12月7-10日（福岡）。
28. 杉本潤、松浦信夫、陣野吉廣：多因子病への内在性レトロウィルスの関わり、日本人類遺伝学会、1999

19990351

以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので、
下記の「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。

「研究成果の刊行に関する一覧表」

Functional analysis of the p57KIP2 gene mutation in Beckwith-Wiedemann syndrome.

Bhuiyan ZA, Yatsuki H, Sasaguri T, Joh K, Soejima H, Zhu X, Hatada I, Morisaki H, Morisaki T, Mukai T.

Hum Genet. 1999 Mar;104(3):205-10.

Analysis of germline CDKN1C (p57KIP2) mutations in familial and sporadic Beckwith-Wiedemann syndrome (BWS) provides a novel genotype-phenotype correlation.

Lam WW, Hatada I, Ohishi S, Mukai T, Joyce JA, Cole TR, Donnai D, Reik W, Schofield PN, Maher ER.

J Med Genet. 1999 Jul;36(7):518-23.

インプリンティング。(第9章)

佐々木裕之.

生殖と発生. 森崇英, 山村研一. 岩波書店. 1999.8 183-194
(岩波講座現代医学の基礎 / 伊藤正男 [ほか] 編集 第5巻)

Sequence-ready 1-Mb YAC, BAC and cosmid contigs covering the distal imprinted region of mouse chromosome 7.

Kato R, Shirohzu H, Yokomine T, Mizuno S, Mukai T, Sasaki H.

DNA Res. 1999 Dec;31;6(6):401-5.

Methylation imprinting of H19 and SNRPN genes in human benign ovarian teratomas.

Miura K, Obama M, Yun K, Masuzaki H, Ikeda Y, Yoshimura S, Akashi T, Niikawa N, Ishimaru T, Jinno Y.

Am J Hum Genet. 1999 Nov;65(5):1359-67.

Repeat-directed isolation of a novel gene preferentially expressed from the maternal allele in human placenta.

Miura K, Miyoshi O, Yun K, Inazawa J, Miyamoto T, Hayashi H, Masuzaki H, Yoshimura S, Niikawa N, Jinno Y, Ishimaru T.

J Hum Genet. 1999;44(1):1-9.

Isolation and localization of an IDDMK1,2-22-related human endogenous retroviral gene, and identification of a CA repeat marker at its locus.

Hasuike S, Miura K, Miyoshi O, Miyamoto T, Niikawa N, Jinno Y, Ishikawa M.

J Hum Genet. 1999;44(5):343-7.